

運命の宇宙法則

Universal Law of Destiny

古代インドの聖者達が明かした運命の秘密

アチャーリヤ・アマン

Acharya Aman

YOGAJYOTI

***** ヨガジョーティ * インド占星術 *****

www.yogajyoti.com

***** 目次 *****

はじめに ---3

第1章 運命の宇宙法則 ---4

神による物質次元の創造 ---9

Janam-Kundli あなたの運命地図 ---11

双児の運命 ---13

ジョーティッシュと科学 ---14

宇宙に働く運命 ---16

菜食主義の法則 ---21

アイデアと運命 ---24

第2章 惑星と宝石が運命に与える影響---25

ダイヤモンドは愛のため? ---34

第3章 チャクラを癒す音 ---36

第4章 運命とソールメイト ---39

運命は人間の知性よりも強力? ---40

第5章 ジョーティッシュと西洋占星術の違い ---44

ジョーティッシュの数学的アプローチ ---46

***** はじめに *****

この小冊子の中で紹介していく事柄は、
人の運命を決めているのは神ではなく、
私達自身が自由に自分達の運命をつくっているという、
インドの聖者達のアイデアが基盤になっているものです。

*

この本を読み進むうちに、
あなたの弱い運気を強いものにしていくための、
古代から勧められている
いくつかの秘訣を知ることとなるでしょう。

*

多くの人々が人生の迷いから目覚め、
宇宙の仕組みを理解して、
自らの幸運を作り出す人生を歩んでいける事を、
心から願っています。

***** Acharya Aman *****

第1章 運命の宇宙法則

この世を見てみると、お金や愛情関係にも恵まれ、すばらしい家を持っていたりなど、すべての面で、容易に成功に近付ける環境の元へ生まれて来る人達がいまゝす。しかし、生涯の間必死に働いても、良い状況に変えられない人達もいまゝす。そのような人達が厳しい状況から逃げようとするほど、状況はもっと厳しくなってしまうたりします。

世の中には生まれながらにして、感覚や技術に優れた才能を持っている人達もいまゝすが、中には人生の簡単な事柄も理解できない人達もいまゝす。ある人は、ルールを作る人として生まれ、ある人は決められたルールに従うだけの人として生まれます。

子供達の中には、健康な両親から、目や耳、話す事に障害をもって生まれ、ある子供達は王室の家系に生まれます。

苦しむ人生を望む魂はひとりもない事は誰でも知っています。

それなのに、なぜこの宇宙で苦しむ魂と喜びを得る魂があるのでしょうか？

なぜそんなことが私達に起こるのでしょうか？

花々のデザインや蝶達の色の細かい部分にまで決められた様子など、この宇宙をきちんと運行している何らかの識別があると信じるべきではないでしょうか？

信頼できるマスター達が言うように、この宇宙が神によって運行されているならば、魂のどんな基準の上に、特別な家族や特別な状況に生まれて来るというチャンスを与えられるのか、その事を明らかにする事が重要な事柄になります。

そのような誕生の疑問は、インドの古い歴史に残る崇高な精神の探究者にとって、とても重大な事柄なのです。そのようなマスター達が、真実を知る方向に意識を向けて瞑想を始め、ついに、微細に働くこの宇宙の素晴らしい法則に気づいたのです。

「原因と効果」という法則です。マスター達が他の人達から疑いをもたれていても、真実を見つけるために祈りや瞑想によって、意識の中に深く突き進んでいって得たものなのです。

それは、カルマ(行い)と運命(反作用)の法則と呼ばれています。

精神性の高いマスター達がひとつはっきりと知ったことは、それぞれの魂の人生が流れ続けている輪廻転生が存在するという事。魂はひとつの転生からまた

別の転生へと旅を続け、過去世の自由意志で行った自分自身の行いによって、その魂の次の生での運命を作り出しています。カルマと過去世の欲望が、魂に次の転生を創造し続けさせるのです。

「きのうの自由意志による行いは、今日の運命である。」
とマスター達は言います。

神という存在が、人類の運命のドラマを書いているのではないという事を聖者達は知っていました。神は、誰かを病気にさせ落ち込ませたり、不幸にさせることには興味がありません。自分の思考とカルマによって自分自身の運命のドラマを書くように、神は全ての魂に完全な自由を与えています。そのように、運命を作るのは、神または、地球にいる特定の魂の幸、不幸を決断したり助けたりするメシアではなく、実際には、特定の魂自身のカルマによるものなのです。

カルマと運命の法則というものは、とても綿密に仕組まれています。そのため、私達がどんなメシアを信じようが、この地球上でどの宗教に属していようが、過去世からの自身のカルマに基づいて、私達は病気や失敗、また、突然の家族の死も体験するのです。大きな宗教団体のリーダーにさえも、この法則が働いています。その人達も時によっては、医者が必要になることがあります。

そのように、カルマと運命の法則は、どんな宗教よりも、地球のどんなメシアよりも、もっと強力なものなのです。

このカルマと運命の法則を知った者が、もうひとつ思い付いたことがありました。カルマと運命のサイクルを終らせるためのカギは単純であり、地球での魂の輪廻転生を終らせる自分自身を知り、カルマと運命の法則を超越することだと考えました。

そして、何人かの好奇心のあるスピリチュアルな修行者がいました。彼らは、悟りに興味があるだけでなく、この宇宙でどのようにカルマの法則が働いているのか、どのようにカルマが運命となって返り、人の人生に影響しているのかのも興味があつたのです。

彼らが興味を持ったことは、カルマが私達の人生に影響する前は、どこにカルマが存在し、無数の存在のカルマを記録するために、神が発展させたシステムは何なのか、そして、そのシステムとは、カルマを減らしたり逃れたりするチャンスがあるのか、私達のカルマが終ることがあるのかないのか、もし何かできる事があるなら、どれくらい可能なのか、というようなことでした。

しかし、聖者の中には、社会の中でこうした知識を知ったり教えたりする事を好まないマスターもいました。なぜなら、そうしたマスター達は、「私は何者か」という悟りに達しなければ、この物質世界では完全に幸せになり満足するということではできないと考えたからです。そして、悟りという人生の目覚めだけを考え、他の一切を考えないことだと思ったのです。

けれども、この世界で幸せに生活をしていきたいと願っているが、すぐに「私は何者か」を理解できるレベルに行けない人々もいると考えたマスター達もいました。カルマと運命の法則の知識は、自身のカルマについて、魂が現在の状況を作り出していく事について、人生をより良くしていきたいと考える人々に、気づきを与えることができると考えたからでしょう。

好奇心のある探究者たちは、かれらの意識の深いところに入り、瞑想を続け、カルマと運命の神秘的な真実が明らかになっていきました。その時に彼らが知ったものは、後に「ジョーティッシュ」と呼ばれたのです。

彼らが最初に知ったことは、全宇宙はまるで意識の海であるかのように、意識で満たされているということでした。すべての水滴がそれぞれ関連してまとまったひとつの海であるように、それぞれの宇宙の一部は、水滴と同じように、存在がどれだけ離れていようが、宇宙の他の部分と意識に基づいてつながりを持っているのです。

静まった水の中に石を投げ入れたなら、波紋を作り出し遠くまで広がり、やがて波紋を作り出した地点まで戻ってきます。そのように、この地球上で肉体的に精神的に、人間が(良い又は、悪い)何を考え、何を行ったとしても、宇宙全体に微細な波動を作り出し、その微細な波動は惑星達と宇宙全体に影響して、波動の発生源である同じ魂の元へ返ってきます。

「占星術とは、惑星運行に対する人間への応答を学んだもの。惑星は徳の行いや憎しみ・敵意の判断意識を持っていない。ただ単に、肯定的か否定的な放射を送っているにすぎない。惑星自身が人を助けたり傷つけたりするわけではなく、それぞれの人の過去の動きに応じて、その原因と影響のつり合いが取られている外見上の作用に対し、法則として働いている導線を提供しているだけである。」

ヨーガナンダ・パルマハンサ著

「あるヨギーの自叙伝」より

その影響は、この宇宙のあらゆる方向から魂達に返ってくるのです。しかし、7つの惑星(太陽—月—火星—水星—木星—金星—土星)は、私達のカルマを送り返すという重要な役割で運行しています。人の人生において、7つの惑星の影響を考慮していくことによって、聖者達は、1週間の7つの日に、これらの7つの惑星の名前を捧げました。後になって、これらの7つの曜日の名前は世界の他の文化圏にも伝わったのです。

7つの惑星が主なものですが、ジョーティッシュのマスター達は、ラーフ(月と太陽の起動の北の交点)とケートゥ(月と太陽の起動の南の交点)も、人のカルマ波動を認識し、人の運命に影響するのだと言っていました。運命を研究する上で、それらも考慮に入れるべきなのです。

私達の思考や行動の波動が宇宙と惑星に放たれて行く時、その波動はKarm(カルマ)と呼ばれ、その波動が人に返って来る時に、Bhagya(運命)と呼ばれます。

私達の過去のカルマの波動全てが、この地球上での一つだけの人生に返ってくるわけではありません。そのため、過去世での波動は来世、そのまた次の来世にと私達を追いかけ続け、自分のカルマの結果を与えます。カルマという波動のそれぞれの点は、誰かによって行われたその「源点」を最終的に見つけます。電球に光を送った後、しばらくの間光が付かない電気的作用のように、運命となって返って来るカルマのそれぞれの波動がしばらく動きのないものとなります。しかし、失われたわけではありません。

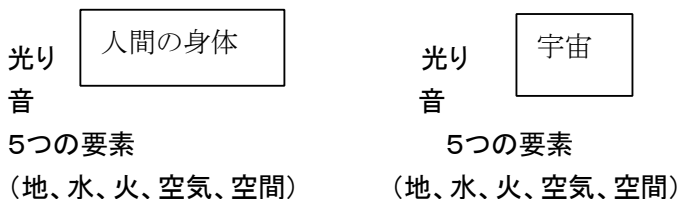
カルマと運命の影響の法則を運行するために、人間の身体と宇宙の構造というものは、正確に似たものとして神によって作られています。ですから、宇宙と人の身体は同じものなのです。

人間の身体には多くの細胞があり、渦を巻いたように回転する数多くのエネルギーセンターがあります。これらは私達の肉体と精神の全ての機能を司ることを助けています。聖者達はそれらに、回転するその機能に応じて、チャクラ(回転)とサンスクリット語の名前を付けました。しかし、何億とあるチャクラのうち、私達の背骨にそって働く7つのチャクラを主だったものであるとし、それは、私達のカルマに反応する宇宙の7つの惑星と関連する機能があるものなのです。

簡単にいえば、私達の運命はこれらの7つのチャクラにかかっているといえます。

宇宙から肉体のレベルに到るカルマと運命の流れを深く理解するために、人間の身体の基本的構造と神の身体である宇宙をみていきましょう。

宇宙は、光りと音と5つの要素(地、水、火、空気、空間)で出来ていて、人の身体も同じこれらのもので出来ています。そのように、宇宙にあるどんなものも、それは私達の身体の中にあるものなのです。



光り、音、要素、これらの3つの側面は、人の肉体と運命を維持するにおいて、重要な部分を果たしますが、ジョーティッシュ(宇宙の光)は、その名前から明らかのように、宇宙の光り(神)として、もっとも重要な見解として考慮に入れられていません。

ジョーティッシュによると、宇宙の光(神)は宇宙にある7色(赤、オレンジ、黄、緑、青、紺、紫)の虹の光(色)に置き換えられ、7つの惑星に割り当てられるようになります。

「7つの惑星は宇宙の7色に関連する。」

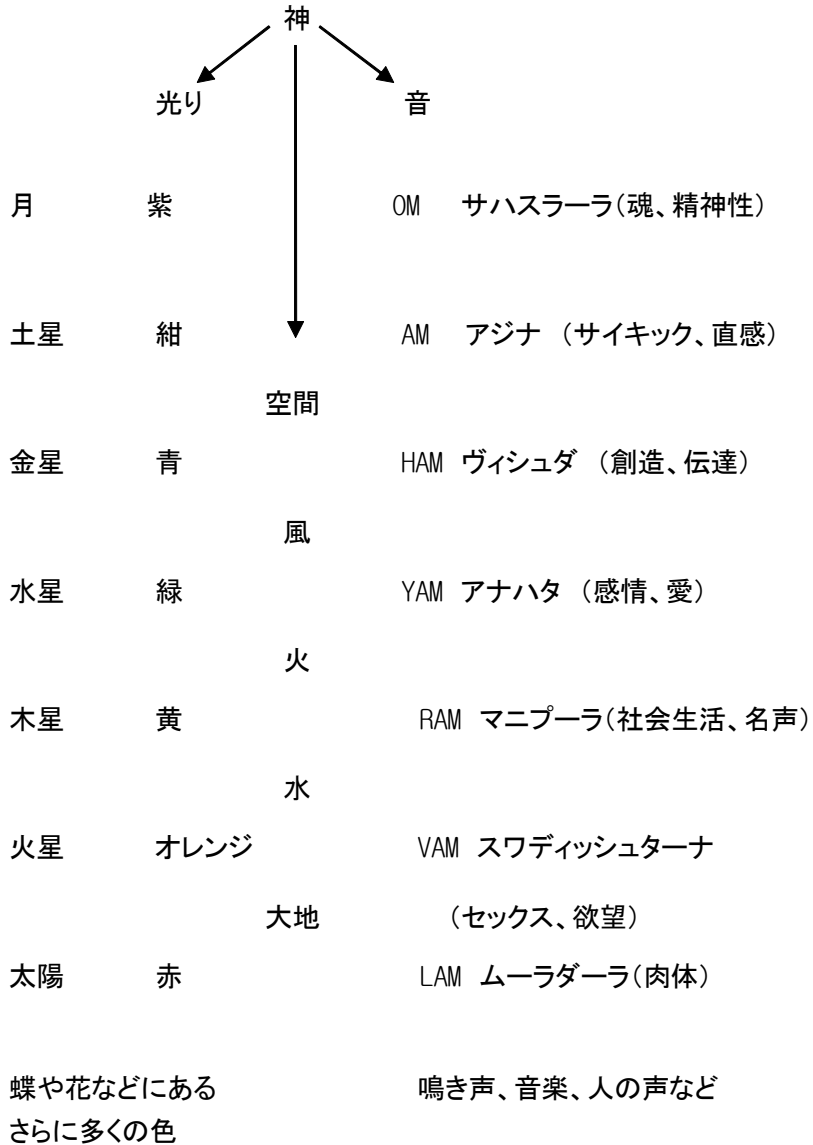
クルマ プラーナ文献より

人が目を開けてみても、空に7色は見えません。しかし、私達のまわりの空間全てに虹として存在しています。そして、人の身体にある7つのチャクラ(オーラの色)としても存在しています。内側と外側、この宇宙と私達の身体は、目には見えませんが、色によって満たされています。どの惑星がどのチャクラに相当しているのかを、次に示す図表で確認してください。しかし、これはただ分けて記述した説明だということを覚えていてください。なぜなら、宇宙のレベルでは、宇宙の7つの放射は、身体にある7色と離れて存在することはできず、すべてがひとつになっているからです。

宇宙の7つの惑星の7色と一致した、肉体にある7つのチャクラ(オーラ)の色の

支配というものは、人がこの宇宙にどのような思考と行いの波動を発したのかによってできた、特別なカルマの作用に基づいています。

***** 神による物質次元の創造 *****



このように、神は宇宙の色であるだけでなく、宇宙の音でもあるのです。神は、

古代インドのマスター達の間で、ナド・ブラフム(音神)という名前でも知られていました。

「はじめにことば有りき、ことばは神と共にあった。

ことばと神は同じなり。」

聖書より

「Ooo…mmm (オー—ン—) の音」と「明るい乳白色の光り」は神の疑いのない根源的なものなのです。ですから、どんな国や文化に住む人でも、神を追求する全ての者は、光り、または音、あるいはその両方として神の存在を悟ったのです。

ジョーティッシュ(宇宙の光)が宇宙の7つの色に変換されるにあたって、最初に宇宙の波動(Oooo…mmm)が7つの他の音(Om-Am-Ham-Yam-Ram-Vam-Lam)に変換され、7つの惑星の音と7つのチャクラの音に割り当てられます。

惑星の中や身体の中に音が存在するという、こうした事柄は一般の人々に信用されにくいものです。しかし、宇宙に色があり、身体にオーラの色があるように惑星にも音があり、私達の身体の7つのチャクラにも音があるのです。

それは、インドのマスター達だけでなく、科学者達の中には、それぞれの惑星は宇宙空間を移動する間、その独特な音を出しているという見方をしています。ピタゴラス(6世紀のギシシャの数学者、和声学者)は天体の神秘的な音楽について語っています。彼は、惑星が宇宙を旅する時に、一定の音を造り出していると考えました。

7つの惑星、7色との関わりと、人の身体の中にあるチャクラエネルギーの回転する7つの音は、それぞれの魂の過去世からのカルマに基づいて人の運命に巡ってきます。

「人々の発展と向上と創造はすべて、

惑星の権威と管理下にあるのだ。」

インド古代サンスクリット ジョーティッシュ文献

ブリハト プラシャラ ホラ聖典より

運命の良し悪しは、人の身体にある7つのチャクラに植えられた種のようなもの

であり、魂が肉体に入り込んだ時に芽をだすのです。

否定的な運命はチャクラの色と音を弱めます。肯定的な運命はチャクラの色と音を強くするのです。

宇宙レベルと個人の運命において、どのように「光り」と「音」が神であると認識できるのかという神秘的な事柄を知ることができます。このことについては、別の本でお話していきます。

肯定的な運命は成功、幸福を与え、偉大なアイデアを引き寄せます。否定的に返ってくる運命は、失敗、肉体的、精神的に不幸をもたらし、否定的なアイデアを引き寄せます。

ある科学者達は、色と病気の間にある関係を実験しています。なぜなら、具合が悪くなった時にその人のオーラも変化しはじめるからです。そして、ジョーティッシュは、チャクラに機能する深く隠された運命を取り扱っています。太陽光の信号から7色が一緒になってひとつの虹をつくっているように、人の運命に影響する波動は、すべての惑星が一体になって機能しています。しかし、この事柄は、前の図表にあったように、それぞれのチャクラが人生の異なった側面と関わっているように、それぞれの惑星が人生の異なった側面に影響しています。もしも、特定の惑星の影響が肯定的であるならば、光と音は繋がりのあるチャクラに強く作用することを意味し、人生のある面において向上していくことが可能です。もし、特定の惑星からの影響が否定的であれば、それは、惑星と繋がりのあるチャクラの音と色が弱く作用していることを意味し、人生のある分野での幸福が少なくなります。

***** Janam Kundli-あなたの運命地図 *****

ジョーティッシュは、ジャナム クンダリJanam-Kundali(ホロスコープ)を読む事で、人それぞれ個々のチャクラに、どの惑星からの光(ジョーティッシュ)が弱いか強いかを見つけたす方法を提供します。ジャナム クンダリというものは、人の運命の神秘的な道路地図であり、この地球上で生まれた個々の誕生日、誕生時間、誕生場所に基づいて作り出します。

人の運命を見ていくための技能であり、ジョーティッシュは「ヴェーダ文献の目」だと考えられていました。ヴェーダ文献はインドの精神性の基盤であり、今日に役

立つこの地球で世界最古の文献なのです。「リグヴェーダ」(4つあるヴェーダ文献のひとつ)はユネスコ遺産に登録されています。

ジョーティッシュによる結論に達する前に、個々の運命で人生のどの側面に強弱の可能性があるのか、様々な事柄が考慮されるべきなのですが、基本的な考え方として、どの惑星が人生のどの側面に支配しているのかを、下記の記述で理解できます。惑星の肯定的、又は否定的な働きが、人生の特定の側面に肯定的、又は否定的な個人の運命を作ります。

太陽----肉体、意志の力、健康面、才能、自信、

 チャンスをつかむリスク、父親関係など

月-----母親、マインド、水に関してなど

火星----リーダーシップ、社会的権力など

水星----コミュニケーション、ビジネス、書籍、出版など

木星----宗教、知識、旅行、科学関係など

金星----愛情、美、芸術(文化に関するあらゆる事柄において、

 何かを創造すること)など

土星----哲学、政治、精神性に関する事など

2つの陰の補助惑星

ラーフ---宝くじ、賭け事、盗みなど

ケートウ---人間関係の破壊、事故など

聖者達は、否定的な運命を持つ人のチャクラの否定的な音と色の扱い方に関しての秘訣も勧めています。チャクラの不足している音の扱いのためには、マントラを勧めています。「チャクラを癒すマントラの音」の章をお読みください。)色を補う

ためには、色を持つラッキーストーンを勧めています。

(第2章「惑星と宝石が運命に与える影響」に詳しい説明があります。)

ジョーティッシュによれば、過去世からのカルマがこの宇宙で惑星の配置と計算上の調和を計る時、それぞれの魂はこの地球上に誕生します。胎児が母親の子宮にまだいる時、惑星達は胎児の意識と結びつき始め、運命の種は実を結び始めます。

***** 双児の運命 *****

すべての人々は、運命に基づいて異なった時間と場所に生まれる事を選びます。もしも、二人の人達がまったく同じカルマを持っていたら、彼らは同じ時間と場所に、同じ母親からも生まれる可能性があります。彼らの運命に何か似たものがある可能性もあります。彼らの人生にたくさんの同じ経験があったり、似たような興味、癖や信念があることもあります。

古代では、同じ時間と場所に生まれた子供達に、何が起きたのかを知るためのメディアは強く働いていませんでした。しかし、現在では科学者達が、同じ時間と場所に生まれた双児の人生に、後には、異なった場所に生まれた他人にも、いくつかの興味深い類似性を目の当たりにしたニュースを聞きます。双児の兄弟姉妹は同じタイプの事柄を好み、同じ時期に似たような肉体的問題をかかえます。いくつかのケースでは、同じタイプの音楽や車を好む事が発見されました。

魂が子宮に入って来るまでは、魂はその運命の種を運びますが、魂自身に作用しません。魂が肉体を持った時に、惑星と運命が魂に影響を与えます。5つの要素(地、水、火、空気、空間)は人の人生のドラマを演じるために、人の肉体というステージで準備し、魂をカルマと運命の生じる地球と惑星間に保持します。しかし、5つの要素は、光と音に存在し依存します。

誕生時には、はじめに、魂は空間に導入され、空気に繋がり、そして、火の要素に接触し、水に接触して最終的に地(肉体)に混じりあいます。

この地球上のそれぞれの生き物は、5つの要素で作られた身体を持っています。しかし、その要素の量は多かったですり少なかつたりします。

精神性を高める修練によって、魂が源の神に返っていく時には、7つの色と7つの音の世界を超えていくだけでなく、5つの要素の領域も超えていきます。なぜなら、音と光と5つの要素はカルマと運命の周囲の働きを創造する責任があるからです。

カルマと運命の領域を超越する魂達は、良いカルマも悪いカルマも招かないのです。惑星達はそうした魂の良い行為にほうびを与えることはなく、悪い行為に罰を与えることもないのです。

魂のための幸福には、ふたつの道があります。ひとつは、魂がカルマと運命の領域を超越するニルヴァーナ(永遠の幸福と平和の境地)という道。もうひとつは、この物質世界で生きている間にこの世の幸福がほしいならば、魂は、カルマと機能し合うチャクラにある光と音の二つの面のバランスを取らなければなりません。

ジョーティッシュは、将来のより良い運命をつくるために、自分の作るカルマについて注意するよう勧めています。

***** ジョーティッシュと科学 *****

宇宙のカルマと運命のシステムは、とても細かく注意深く働いており、仮に地球から宇宙を見たとしても、その機能は肉眼では何も見えません。科学も宇宙を探究し、何世紀にも渡って、宇宙と人生を独自の方法で計算していますが、宇宙の神秘を説き明かすにはほど遠く、さらに混乱していきます。

歴史を少し遡ると、科学は地球に一番近い月について、いくつかの信じがたい真実を計算することができました。月は潮の満ち引きに影響を与えることを知ったのです。そして、私達の身体と脳にも水分があり、海水は月に影響されるように、月は脳の水分にも影響し、たくさんの思考やアイデアを変えることが可能なのです。そのために、満月の夜に、ある人はロマンチックな気分になり、ある人は事故を起こしたりします。

しかし、ジョーティッシュは、人々が信じようが信じまいが、5千年以上も前から、人の人生に起こる惑星の影響について教え続けているのです。最も興味深いことは、望遠鏡も存在せず、惑星の天体の姿を肉眼で見る事ができなかった時代でさえ、聖者の人達はこうした事を知っていたのです。御存じのように、望遠鏡は約4百年前に、ガリレオによって発明されたものでした。

ならば、それ以前の人達はどのようにして、そうした事を知ったのでしょうか。

それは、瞑想によって知りました。聖者達にとって、瞑想というものは、人間の人生と宇宙の神秘を探究するための「望遠鏡」のようなものなのです。

科学によると、月の影響は全ての人達に同じように影響するとされています。し

かし、ジョーティッシュは同じ月の影響でも、カルマと運命の法則においては、それぞれに異なった影響を受けるとされています。そのため、満月の夜に、すべての人達が事故を起こすわけではありません。月の影響は、ある人達にとっては最高の報酬になります。

なぜなら、良い運命においては、月の波動は、何か高い人生目的に向かえるように、その人の脳細胞を刺激します。月は成功のための素晴らしいアイデアを与えることができます。

もしも、過去世からの敬虔なカルマを持つ人であれば、月はその人を悟りに到るのを助けることもできます。多くのヨガ行者達が満月の日に悟りを得ています。仏陀も満月の日に悟りました。もし、あなたのホロスコープ上で月の配置が好ましいものであれば、満月の日に瞑想する事を忘れてはなりません。そして、そのような人は、もっと効果的に月の放射を受けられるように、真珠を身に付けることを覚えておいてください。なぜなら、真珠は月と繋がる宝石だからです。

しかし、科学が事柄を100%説明できないように、ジョーティッシュ自体に欠点を持っています。なぜなら、今日利用できるようになったジョーティッシュの知識が何であれ、聖者達が瞑想の中で、意識のカメラの「フラッシュ」のような感覚で見えたものだからです。

それでも、ジョーティッシュというものは、一生の間に存在する事柄や地球上の歴史にある事も、事前に可能性のある出来事を予測することが可能です。

どのようにして、そのような事ができるのでしょうか。

ジョーティッシュでは、宇宙にある惑星の配置によって、何かが起こる前に、出来事を予感したり疑わしい事柄を知ることができます。なぜなら、自然の中に隠された「予言」があり、それを読む事ができるからです。

現在の科学でも、自然の「質の予測」の事実に興味を持ち、その研究と向き合っています。科学が何千年も探究して出した沢山の答え、それらは、すでに自然の中にあります。

例えをあげれば、科学は多くの費用を使い、何年もかかってどのように癌を発見できるのかを研究してきましたが、その答えはすでに自然の中にありました。ある犬がその臭いによって癌を認識していたのです。現在、何人かの科学者達は、地震や自然災害が起こる前に、鳥、魚、花や植物がそれまでとは異なった行動をとるという事について研究しています。

ジョーティッシュでも同じように、特定の場所にある特定の植物は、何が起こる

のか、可能性を予測することができると言われていました。

宇宙は、ホロスコープによって知る私達のチャクラだけに、個人の運命の糸口を与えるわけではなく、人の手の上にも、その人の運命の糸口が残されます。

惑星がホロスコープにその影響を現すように、手相にもそれぞれの配置が同じようにあります。あなたのラッキーストーンを身に付ける時に、特定の惑星とつながりのある指に付けるべきであると考えられています。

人の運命が垣間見られる手相術 (Hast-Rekha Vigyan) は、ジョーティッシュと共に古代インドで発展し、生命線、運命線、頭脳線、太陽線、愛情線、感情線などは、人の運命についての良い手がかりを与えてくれます。

西洋で手相術はアイルランド人キーロ (Cheiro) によって紹介されました。彼はインドの聖者達から学び、西洋の人達に伝えたのです。

宇宙にはたくさんの神秘がありますが、人がこの世に起きるすべてを知ることができないように、色々な意味で隠されています。

ジョーティッシュや手相術を実習したマスター達は、カルマと運命の宇宙の法則と、より良い人生の道やこの世界を卒業すること(悟り)につて、人々に話すことを目的としていました。

そのような指導者は、人々に話す時、すべての人はこの地球上での行いや態度に気を付けるべきであると話しました。人間は何の存在からも見放されて、この宇宙でひとりだと考えてはならないのです。

***** 宇宙に働く運命 *****

惑星というのは、宇宙の中で起きるすべてを写す強力なカメラのようなものなのです。この地球上で、私達が何をしているのか、全ての人々の細かい思考や行いをキャッチするためのものなのです。

あるマスター達は、小さな針が地面に落ちた事でさえも、その出来事は宇宙全体に保存されるのだと言います。この地球上で、全ての木に鳥の巣がいくつ作られたのか、そして、何百年間に生み出された卵の数のデータも、この宇宙に存在しているのです。

私達の仕事場で、はっきりとしたデータ無しに運営できないように、宇宙というオフィスもこの宇宙に起きた出来事のデータ無しで、カルマと運命による運営は不可能なのです。

携帯電話のチップから送られた波動が人工衛星に伝わるように、惑星も個人のカルマに基づいて、すべての個人に異なる運命の波動を送るようにプログラムされています。

携帯電話はこの地球上どこにでも移動できますが、衛生とつながっています。私達のチャクラと惑星も、それと同じようなものなのです。

人口衛生と携帯電話の間に、微細な電波が流れているように、私達のチャクラと惑星の間にも、微細な波動が流れています。しかし、私達はそれを目にする事ができません。

声や音、写真が携帯電話やインターネットで受け取られる前には、空間を移動しています。

同じように、カルマと運命は、色と宇宙の音のリズムと共に空間を移動しますが、目や耳で見たり聞いたりすることができません。

とてもたくさんの写真が送られ、空間から最終的に間違いのない同じものを受け取るように、あなたのカルマと自分の夫や妻のカルマは最終的な到達点を知っています。私のグルはよくこう言っていました。子牛が何千頭もの牛の中から、自分の母親を認識するように、個人のカルマは何十億もの人々の中から、その「源」を認識するのだと。

カルマの波動が惑星に届く前、宇宙に影響を与え、惑星から自分の元へ返る時にも宇宙に影響します。そして、宇宙は神にほかならないのです。血液が私達の身体に流れているように、カルマと運命のシステムも神の身体に流れています。しかし、宇宙はどんなカルマにも反応しません。惑星だけが反応するのです。なぜなら、神はすべてに公平であり、カルマと運命の法則に介入しないのです。

会社では、経営を部長に、監督者は会社の運営を良い状態にするため、機能をコントロールするために、オーナーがそれぞれに仕事の権利を与えるように、この宇宙の働きの中で、神というオーナーは、部長の役割として太陽に光を、その他の惑星達には監督者としての役割を、神の意識の一部として分け与えています。神によって惑星に与えられた意識は、私達のカルマと思考の波動を理解し、それを送り返すには充分なものなのです。

「惑星とは、カルマや人類の行為の結果を与える神の現れである。」

ブリハト パラシャーラ ホラ聖典より

会社で社員の誰かが仕事で間違いをしたなら、部長や監督者はこの問題の処理について考えなければなりません、社長はそうしたことについてそれほど深く考えないものです。その社員は部長や監督者に申し訳ないと感じるだろうし、人によっては社長に対してもお詫びをするでしょう。同じように、人が惑星に詫びたり、神にも心を向けることは人生の助けになります。

そして、過去の間違いが消えることがないように、カルマは減らないのです。

会社で社長に小さな事柄は考慮されないように、神もカルマと運命の自然法則の責任を惑星に与えました。神はこの宇宙に、裁きの完全なシステムを創造したのです。そのため、通常の状態に関して、この法則に関与する必要がありません。

この地球上で、人が美しい身体を持っているか持っていないか、恋人がいるかないか、幸福な人生かどうかは、運命の宇宙法則によって決められ、神によって決められたものではありません。ですから、毎日のように多くの人々が様々な事柄を祈りますが、神は通常世界のたくさんの祈る人々に答えません。人々がどんな宗教や救済者に属しているか、病気に苦しんだり、失敗したり、幸福でなかったり、家族の死などはそれぞれのカルマが基になっています。

なぜなら、宇宙(神)は公平であり、カルマと運命の法則は自然に働いているからです。しかし、ある人が宇宙の力に献身の心でエゴを100%手放したなら、宇宙(神)はその人のために動き始めます。

カルマと運命の法則と共に、神は輪廻転生のシステムを設けました。輪廻転生は私達のカルマの結果を返して来るだけでなく、それぞれの魂に、過去世で果たせなかった事を続けるチャンスを提供しています。そして、魂は自分の間違いを修正する機会を得るのです。

それは、次の輪廻転生を決めるカルマ、欲望やもっと重要な役割を演じる態度だけではありません。過去世からの欲望は、次の転生の身体を造るための一番の要因であり、過去世からの(良い、悪い)カルマは、欲望に向かって旅する魂にある障害と機会を提供するために作用し続けます。そのため、欲望というものは、次の転生を作り出すために必要とされます。(良い、悪い)カルマだけで次の転生を生み出すわけではありません。なぜなら、欲望とは、肉体という車が走るための「燃料」のようなものなのです。

今世でミュージシャンになる強い欲望を持って死んだ人は、その人は次の生で、若いうちから音楽を始め、過去世からの(良い、悪い)カルマに基づいて、成功や

失敗に直面し続けます。

全ての魂が何かの目的を持って、ミュージシャンや歌手になるためだけではなく、様々な目的のために転生します。たとえば、愛を得るために、誰かに復習するために生まれたりします。他の肉体に転生するまでの間、魂はこの地球上で生涯を通じて習慣ようになっていた生活態度と同じ精神状態を夢のような感覚で体験します。

カルマと運命の法則において、ただ外見上の行いではなく、どんな判断と思考であるかが、未来を決めるために最も重要です。たとえば、あなたが傷つけようとしたわけではなく、誰かがあなたに傷つけられたとしたら、それは、あなたのカルマにはなりません。それは、傷付いた人の運命なのです。しかし、はっきりと意図を持って一人でも人を傷つけたなら、あなたはカルマの法則下にあります。もし、誰かに反対するような行為をしようと計画した人が、実行できずにいたとしても、その人は自分のカルマの影響下にあります。なぜなら、すべての行為は身体だけで行われるのではなく、主にアイデアによって行われるからです。肉体は私達の思考を物質化するためのただの機具なのです。ですから、考える事に注意してください。カルマの法則は、私達の微細なレベルの思考からも働きます。どんな思考も宇宙に波動を作り出すからです。

もしも、あなたが助けを必要としている人を助けたとしたら、宇宙と惑星はその情報を貯蔵します。もし、助けることができない状況にあるとしても、あなたが助けたいという心を持っていたなら、その情報も貯蔵され、将来その心の報酬を受け取ります。

また、現在の人生で間違えた行いをしている人でも、今の人生を楽しんでいる人がいたりします。その人が楽しんでいる生活は、過去の生活からのまだ受け取っているカルマによるものです。しかし、その良いカルマもやがて続かなくなり、その人は今生か次の転生で、自分の悪いカルマの作用する策略に落ちていきます。

カルマと運命の法則が設立する以前、基本的にすべての魂達は、良い事だけをしたいと望んでいました。それが魂の自然な状態なのです。建物が崩壊するような時には、それに気づいたすべての人々が何の指示も受けずに、犠牲者を助けに走るという姿を見た事があるでしょう。

この助ける感覚はどのように人々にやってくるのでしょうか。

心理学者達は、次のような結論を出しました。犯罪者達が映画を観る時、映画のクライマックスでは、犯罪者ではなく、善良な人がその努力で成功するのを観たいのです。

なぜ犯罪者が最終的に成功する事を考えないのでしょうか。

なぜ、このような感覚が彼らにやってくるのでしょうか。

犯罪者であっても恋愛関係の感情を持っています。彼らも愛に苦しんで泣いたりします。時には、そんな彼らも友人達のために人生を捧げる事を拒まないのです。すべての魂のハートの深いところに、善意というものが潜んでいます。生まれながらにして犯罪者の者はなく、それぞれの精神に仏陀が眠っています。ですから、何が良いカルマで何が悪いカルマなのかを教える必要はないのですが、魂に本物の本質を気づかせるために必要なのです。

しかし、時々ある魂は、良いカルマや悪いカルマを考えずに、社会の中で他の人々が行う事をまねし始めます。なぜなら、大勢の人達がしている事を見る時、魂にある個人の善の感覚が消えてしまうのです。それでも、神は、カルマと運命の法則の限界を超えるまでは、人類がこの地球上で何をしようがまったく気にしません。学校で、子供達が遊ぶ間、お互いに殴り合ったり学校の中の美しい庭を壊したりしなければ、子供達が何のルールを発展させようが問題ではないようなものです。しかし、子供達は喧嘩をしたり校庭を壊したりすれば、校則に従って処罰されます。カルマと運命の宇宙法則も同じように働いています。

人間社会では普通となっている行為、お酒を飲んだりたばこを吸ったりする事は、健康に良くないけれども、カルマと運命の法則は、そうした行為者に対して作用しないのです。なぜなら、そうした行為をしたとしても、他人を傷つけたり、痛みを与えたりしないからです。しかし、同じように人間社会では普通となっている行為、企業の利益を増やすことによって行われている自然破壊や食用動物の殺害というものは、自然や動物に対する虐待となり、カルマの法則が働くのです。

たばこがどこでも手に入るため、たばこを吸う事をやめさせる効果的なアドバイスが難しいように、肉がどこにでも売られているため、虐待につながる肉食に対する聖者達のアドバイスを見つけることは難しいのです。

たばこを吸う行為はゆっくりと身体に毒を与えますが、異なる国々のたくさんの政府がたばこを公認しています。政府もお金や国民の支持に影響されているからです。

多くの人々が賛成するからといって、それが宇宙の法則からみた時に正しいと

は言えない事柄も多くあります。

多くの人々がたばこを吸っているから安心だとは言えず、たばこを吸えば、何かしら肺にある程度影響を与えるように、何百万人の人々が肉を食べているからといって正しいとは言えないのです。それは、動物に痛みと死を与える行為であると知っている以上、その人達にそのカルマの影響が生じていきます。

もしも、そうした同じ良くないカルマを持つ人々の数が多くなり、宇宙が彼らにカルマの結果を送り返す時、地震や洪水などの自然災害などに巻き込まれたりします。社会全体がさらに悪化した時には、過去にも多くの文明が滅んできました。

***** 菜食主義の法則 *****

私達人間の爪や歯と、肉食動物の爪や歯の構造を比べてみると、神によって自然に与えられる人間のための食物を理解することができます。ライオンやタイガーなど、すべての肉食動物が狩りで獲物を獲得できるように、鋭く尖っている爪や歯が与えられています。それに比べて、私達人間の爪や歯は、馬や牛やラクダのような草食動物に近い構造をしています。

鋭い爪というものは、何かをつかんで狩りで獲物の体を引き裂くために重要なものです。しかし、人間はそのような爪を持っていません。人間の胃腸は、菜食の食事を効果的に消化するのに適していると、医者達が言っています。

肉食は、セックスのように神によって与えられた基本的な人間の本能ではありません。肉食というものは、たばこやお酒のように、他の人々から教えられたものです。もしも、人間が子供達に肉を食べることを教えなかったとしたら、人は、爪や歯や胃腸の構造に、自然に適していると考えるものを食べて生きるでしょう。しかし、社会に洗脳され、人はセックスに対して恥じたり罪の意識を感じ、肉食は自然なことだとされています。しかし、宇宙と自然の法則は人間社会の考えとは異なっています。

「非暴力は、進化のゴールである最高の倫理に導くものである。他のすべての生き物を傷つけることをやめるまでは、私達は未開人なのである。」トーマス エジソン

もしも、親達が経験から、草食である馬や牛、象などが強く健康で大きな体を持っていたりすることを理解しているなら、なぜ子供達に肉を食べないと力がかないと教えるのでしょうか。多くの肉を食べる人ほど、病気や癌になる確率が高くなる

という調査結果も報告されています。

「この地球上で、人間の健康と長生きの恩恵を得るものは、
菜食による食事に勝るものはない。」
アルバート アインシュタイン

自動車メーカーの車のエンジンの力強いパワーを表現する時に、なぜ「ライオン力」とは言わず、「馬力」という表現を使うのでしょうか。それは、馬が長い時間走り続けるようなスタミナとエネルギーが、ライオンのような肉食動物にはない事を知っているからです。草食は馬にもっとスタミナとエネルギーを与えるのです。

すべての肉食動物達の方が、どう猛で気が短い事が知られています。これらの性質衝動は肉食による人間社会にも起こります。なぜなら、食物によって身体の中の血液が作られ、血液は脳にも流れていくからです。そのために、怒りやすい、落ち着きがないなどの精神的な問題や、肥満などの肉体的な問題が人間社会に起きています。

肉食はカップルの恋愛関係も壊す可能性があるという、多くの調査結果があります。肉食というのは、この地球上で、人が菜食にできる食物が手に入れない状況にある場合に許されるものなのです。しかし、人間には、この地球でほしいと思うものを作り出す智慧が与えられています。その智慧を使い、菜食が可能になる場所も増やすことができるかもしれません。

人間が草食動物や鳥のように、果物や野菜を食べる時、地球の自然環境を守ることのできるのです。果物や野菜を食べることによって、果肉を食べた後の種を蒔く事で、また、排泄物を通じて、自然は再び生長し続けます。

しかし、動物を殺した時には、その動物の家族の命も途絶えさせ、人間と同じように持っているその動物の家族に対する愛情も断ち切ってしまうのです。

自然界では、家族関係にある仲間の動物を殺しあうことは非常に稀ですが、人間社会では、愛情やお互いの関係を自然界の生き物のようには深く理解していないと言えます。

人間社会では、自分の勝手な欲望によって怒り狂い、家族を殺してしまう事件がたくさんあります。しかし、ジャングルでは、欲望のために怒ったオスのシマウマやオウムが、たとえ自分の選んだメスが他のオスに興味を示したからといって、そのメスを殺すという話を聞いたことがありません。生き物自身のわがままな理由から、自分の親や子供を殺す生き物は、ジャングルでどれくらいいるのでしょうか。そう

したことは、人間の社会で起きています。

ここ数百年間に女性や子供、何の罪もない多くの人々が殺された数多くの戦争がこの地球で行われていても、人間は、自分達は文明を発達させ友好的で、動物は獣であり危険な生き物であると思っているのです。

動物は人間よりもバランスの取れた社会を持っています。人間は自分達に都合のよい定義をつくり、動物には軽蔑的な定義を勝手につくるので、それぞれの魂の公平さを定めるために、この宇宙でカルマの法則が働くのです。

今では、世界中で何十億人もの人々が肉を好んで食べ始めています。そのために、食品産業は肉類の商品生産に集中し、人々はこの地球に野菜や果物、植物や森のための土地を増やすという意識が減っています。現在、科学者達は、地球が最後を迎える時が近付いているという自然からの警告を、年々強く受け取っています。

多くの天才と呼ばれる人達のほとんどが菜食主義なのです。たとえば、仏陀やガンジー、アインシュタイン、トーマス エジソン、プラトン、ニュートン、ピタゴラス、カント、ソクラテス、ジョージ バルナード ショー、ジョージ ハリソン、その他にも偉大な人物が大勢います。菜食主義の食事でも、私達は健康に知的な人生を送れるのです。

生き物に痛々しい死を与えたことで受け取る運命は、精神や肉体に痛々しい経験となって送り返され、様々な運命を作り出す様々なすべてのカルマは、忘れ去られる事はなく、いつか何らかの形で与えられるのだと、聖者達は警告しています。

菜食主義の法則は、現代科学が発達する以前から、チャクラやオーラ、輪廻転生を理解していた聖者達による思索であることを、私達は忘れてはなりません。それは、このアヒンサ(非暴力)のメッセージを多くの人々に伝える事が、自分の生涯の役割であると、私はマスター達と約束したからです。しかし、あなた方がどんな行動をとるのかは自由です。なぜなら、運命はあなたのものだからです。

何が善で何が悪なのかを人々はよく知っています。しかし、もし、何が良いカルマで何が悪いカルマなのか混乱してしまったなら、あなたが他人からしてほしいと思う事柄が、良いカルマであり、あなたが他人にしてほしくないと思う事柄が、悪いカルマであるという事を覚えておくと良いでしょう。ですから、あなたが痛みを与えられたくないと思うなら、他人に痛みを与えないようにすることです。

私達の運命は神秘的な方法で機能しています。私達の身体にあるチャクラというものは、惑星の影響を受けていて、惑星が人の運命に影響する時、惑星が人のカルマの報酬や罰を与えに、地球に来る必要はありません。惑星達は、チャクラにある音と色の微細なレベルに働きかけます。そこは、私達の思考が生まれる場所なのです。

月が水に影響を与えるように、惑星は、脳にある液体に少し動きを作り出すことによって、人の運命にたくさんの変化を起こしていくことができます。惑星はチャクラのエネルギーの流れをかき混ぜ、思考を生み出し私達のマインドに送るのです。人がその思考を行動に移す時、その人の良い又は悪いカルマの貸し借りを、精算するような状況に落ち入っていきます。ですから、惑星は、人の運命を操作するための思考を私達の脳に必要とします。人の人生の毎瞬の思考と決断は、惑星の重力のコントロール下にあります。

惑星が肯定的な作用をする人の場合、成功と幸福につながるすばらしいアイデアがひらめきます。しかし、惑星が否定的な作用をする人の場合、苦悩している人生の状況から抜け出すための、良いアイデアが少しも浮かばないのです。そのように、アイデアというものは、良い運命を作る贈り物でもあります。このように良い運命を持たなければ、生涯の間、必死に働いても人生を変えることは難しく、幸運な人というのは、単純なアイデアだけで人生が好転するという考え方が、人によっては不思議に感じるでしょう。

どんな状況の元に私達が生まれて、今どんな生活をしているにかは、過去世からのカルマによって作り出されたものなのです。

「生きる年齢、身体、喜びと悲しみは

過去世のカルマによって決められている。」

ヨーガ スートラ

そして、今、私達がしている行い、それが将来の自分の運命を作り出すのです。

この地球で人生にさまよってきたのは、宇宙の中の秘密ではなく、誰が何を受け取るのかは、自分が作った運命によって決められます。ですから、もし、あなたが良い運命を望むなら、自分のカルマ(行い)を肯定的にすれば、将来の運命は好ましいものとなるのです。

第2章 惑星と宝石が運命に与える影響

私の祖父は有名な占星術師だったのですが、子供の頃、祖父のとなりに座り、よく祖父の話を聞きました。

「惑星は意識を持っていて、宝石も意識を持っているし、ガンジス河にも意識があるんだよ。」と祖父は言いました。私達が何かの目的で地面を掘った時に、祖父は儀式を行い、マントラを唱え、「この地球にも意識があるんだよ。」とやっていましたが、その当時の私には、祖父の言った事がまったく理解できませんでした。

ずいぶん昔に、科学者達は、この宇宙で人間と動物だけに意識があり、その他の生き物の現象には意識がないのだと考えていました。しかし、近年、植物もそれ自身が感じる感覚を持っているという驚くべき証拠を目の当たりにしたのです。植物も人間が感じるのと同じように、好き嫌いがあります。植物に心地よいクラシック音楽を聞かせると、よく育ちさらに成長します。そして、ヘビーメタルなどのロック音楽を流すと、植物が元気をなくし、枯れてしまうものもあります。

日本人である江本勝博士は、別の発見をしました。もうひとつの別の側面から、宇宙の神秘を人の目に見える形で示したのです。

水は死んだもの、という一般に考えられてきたようなものではないという事を、江本氏は科学的な多くの実験によって証明しました。水には意識があり、私達の肯定的、否定的なことばに、水は影響されるという事を証明したのです。水に「愛します」「ありがとう」などの尊敬する愛情のあることばを繰り返し送ると、水の結晶が美しい形となって現れます。もし、否定的なことばを送れば、醜い形の結晶になったり、結晶の形にならなかつたりします。

この発見でも、私達自身に影響する自分の良い考え悪い考えに、気を付けるよう勧めています。なぜなら、私達のからだには、考えに影響を受ける水がたくさんあります。この地球の70%は水であり、この地球に住む何十億人もの人々の思考やことばによって、その水が影響されていることは明らかなことです。

人間がこの宇宙の真実に深く入り込む程、自然の中にあるたくさんの驚きや、信じがたい事柄が待ち受けています。明日にでも科学によって、次に知らされる神秘的な宇宙の真実を、私達は知らないでいるのです。何千年もの間受け継がれてきた古代の知識であるジョーティッシュも、惑星の意識について似たような事を示

してきました。

古代インドのヴェーダ文献に深く精通していくと、古代の聖者達が、この宇宙の微細なレベルで働くすべての「意識」現象を、瞑想の中で気づくことができたという事実が解ります。その聖者達は、アグニ(火)、ヴァーユ又はパワン(空気)、プリテヴィ(地)、ジャル(水)、グラ(惑星)は意識に満たされているという、すべての自然現象に気づきました。その気づきによって、彼らは水に祈るだけでなく、火や空気、大地と惑星にも祈りを発展させました。ヴェーダを読むと、その大部分が自然に対する祈りで満たされていることが分るでしょう。日本の京都にもたくさんの自然神の仏像があります。その起源はヴェーダにあり、仏教を通じて日本に入ってきました。

水というのは、古代インドでとても大切に祭られていました。ガンジス河はそのよい例でしょう。この何千年もの間、の何世代もの数えきれないほど多くの人々が、ガンジス河に祈りを捧げてきました。今も、たくさんの聖者達がガンジス河の近くで、瞑想や修行をする事を好みます。なぜなら、ガンジス河のほとりや川の中に立って、たくさんの聖者達が行う瞑想によって、ガンジスの水は精神性の高いエネルギーを貯えるからです。そのエネルギーを利用し、近道をして精神性の向上を望むたくさんの人々が、ガンジス河の近くに集まります。

身体と魂の浄化を望む人達には、川の水に触ったり水の中に潜ったり、川の中に立って祈りを捧げる事を、多くの聖者達が勧めています。

古代文献には、木から果実を取ったりするだけでも、木にお礼を言うべきであり、川の水を飲む時には、川に感謝をするべきである、とされています。なぜなら、人が自然の神々に対して良い態度をとらなければ、人間は良い生活が送れないからです。そのため、「自然の神々」の概念はインドの文化では普通のこととなっています。

インドに外国人が侵入した時、インドのこの「自然の神々」の概念を消化することができませんでした。インド人がたくさんの神々に祈りを捧げる多神教として、彼らは世界に広くゆきわたらせました。

外国人達の中には、インドではすべてのものが神であると思った人達もいます。なぜなら、インド中のどの場所でも、水に、火に、太陽に、月に、木々に、祈りを捧げる人々を見たからです。

「最上神」についてのヒンドゥ教の見方は、他の文化を持つ人々にとって、理解する事は簡単ではないでしょう。なぜなら、同じ神のこの宇宙での役割を基に、たくさんの異なる名前と呼んでいるからです。たとえば、神(Brahm)はこの宇宙

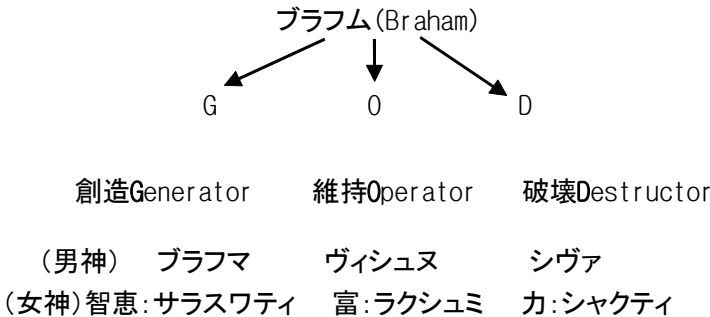
(Brahmand)の原因であり、神は3つの異なる宇宙の機能を演じています。それは、創造、維持、破壊という3つです。神が宇宙を生み出す時、神はブラフマと呼ばれ、宇宙を維持していく時、神はヴィシュヌと呼ばれ、宇宙を終らせる時、神はシヴァと呼ばれます。

ブラフマとヴィシュヌとシヴァは、宇宙の機能の必要性に応じて変化した、同じ最高神の3つの異なる側面なのです。

私達が何かを作り出すには、深い知識がなければならず、何かを続けて維持していくには、富が必要であり、何かを壊す時にはパワーが必要であることはお解りでしょう。

そのような仕組みで、宇宙を造り出す時に必要な力を持つ神を、サラスワティ(智慧の女神)と呼び、宇宙を維持するために必要な力を持つ神を、ラクシュミ(富の女神)と呼び、この宇宙を終らせるために必要な力を持つ神を、シャクティ(パワーの女神)と呼ばれます。

古代インド人達はこの三位一体をそれぞれペアーにしました。マスター達の中では、「神よ！知識を与えたまえ。」と言う代わりに、「サラスワティ」の名前を言うだけでよいと勧める人達もいます。そのように、今も昔も、どの学校にもサラスワティの絵や仏像が飾られています。サラスワティに祈りを捧げ願いごとをすることによって、多くの子供達は知性の高い人生が作られます。



そして、神としての力について話す時に「女神」と共にあるのは、太陽が月の存在なしでは太陽系のバランスが取れないように、男神は女神の力無しには、完全な宇宙の働きを果たせないのです。おなじように、男性が女性なしでは人間社会が完全なかたちで働かないのです。神というのは単に「男・陽」というだけでなく、神は

「女・陰」でもあり、「女・陰」も必要なのです。

世界中の多くの人々には、神に対してこのような考え方を理解するのは難しいことでもあります。なぜヴェーダ文献に、火、水、月、太陽やその他の惑星にも、祈りを捧げることが書かれているのかを、理解することはさらに難しいことでした。

しかし、瞑想の中で、聖者達の意識が至高の頂点にあった時、すべての自然現象にある意識と、水が人間の態度を理解して何かを表すように、生き物達に敬意や感謝を示すかによるという事が解ったのです。

ですから、この地球で自然と供に調和した人生を送るために、人間が感謝を表す姿勢で、敬意を示すために、自然神は重要な存在なのです。なぜなら、人間の肉体でさえも、5つの自然神である、水、火、空気、空間で作られているからです。そして、目に見える現象、見えない現象の存在と機能は、宇宙の計画によって、地球上での人生を向上させるためのものなのです。

ひとつの至上主にだけ祈りを捧げることは、最上の考えとは言えません。自然もまた敬意を払われるべきなのです。人間は母である自然と父である神のお膝元で生きているからです。人間社会をみてみると、必要な家族の働きがすべて上手く運ぶようにするために、父親は、家族の中で、子供達よりも母親の方と深いやりとりをします。そのように、神は、必要な宇宙の機能が上手く運ぶように、子供達である人類よりも、母親である自然の方と深く微妙なやりとりをします。

自然(母親)というひとつの面は、神(父親)とつながり合っていて、別な面である私達(子供達)とつながっています。神の意識を自然現象(大地、火、海、空気など)の中にまき散らした後、神は容易に自身の宇宙の機能を作ります。カルマの法則でさえも、神は自身の意識を惑星に与えることによって動かしています。

すべての自然現象の意識は、人間がこの地球上で何をしているのか、とてもよく知っています。自然がこの地球で人間を助ける役割は、人間がこの地球上で何をしているのかを、観察し続けるという義務もあるのです。

母である自然に対して失礼な態度が大きくなる時、地球上の事柄を統制できなくなり、人類がこの地球で救われるかは疑問になります。この地球で文明がどれくらい続くかは、神によって単独で決められるのではなく、自然という存在によっても決められます。自然神にとって耐えられない状況になった時、神は、人間のとった行動に対して、自由なやり方で反応する事を、すべての自然現象に選択の自由を与えます。神から自由な選択を与えられた後、人間達が自然に対して行ったように、自然はこの地球で猛烈な台風や地震などの災害となって猛威をふるいます。

「自然は無駄なものはない。」

アリストテレス

この地球に起こる事は何でも、自然と神との間に微妙な伝達が起こるのだと理解できます。

ジョーティッシュは何千年の間、カルマと運命の法則も神と惑星間での伝達が働いているのです。太陽と月、他の惑星達はただの物体ではなく、振動している生命体なのです。水が人間の態度を理解するように、惑星も人間の肯定的、否定的な態度や思考を吸収し、反応を返してきます。

江本勝氏は、水の実験から、しばらくの間水に特定のことばを接触させると、水の意識は反応し始めるのを知りました。同じように、聖者達はそれぞれの惑星の意識は、特定の感謝のことばによって反応します。そして、惑星は、一定の惑星の意識を喜ばせるために、マントラのような感謝のことばが、どれくらい繰り返し唱えると十分な数なのかも知っています。もし、カルマの法則の上で、誰かの特定のいくつかの惑星からの影響を完全にするには足りない時、その惑星に心を込めた愛のメッセージを送ると、その人の運命に好ましい結果が生み出されます。

インドの古代聖典に精通していくと、どのマントラがどの惑星のためのものかが述べられています。聖典には、何回のマントラが唱えられるべきかも述べられています。

次に、惑星のためのマントラを簡単に述べてみましょう。

太陽-----7千回-----オーム スーリヤエ ナマOm Suryaye Nama

月-----1万1千回-----オーム ソーマエ ナマOm Somaye Nama

火星----1万回----オーム マンガラーエ ナマOm Mangalaye Nama

水星----4千回-----オーム ブッダーエ ナマOm Buddhaye Nama

木星----1万9千回----オーム グルヴェ ナマOm Gurve Nama

金星----1万6千回----オーム シュックラーエ ナマOm Shukraye Nama

土星---2万3千回--オーム シャニチャラーエ ナマOm Shnetcheraye Nama

その他、2つの陰の補助惑星

ラーフ----1万7千回-----オーム ラーフヴェ ナマOm Rahve Nama

ケートウ---1万8千回-----オーム ケートヴェ ナマOm Ketve Nama

惑星のマントラの数を見ると、いくつかの惑星の意識は比較的、容易な数で刺激され、いくつかの惑星は、満足させるには難しいようにみえます。多い数が必要で難しいというのは、ジョーティッシュの法則では、悪い意味ではありません。

しかし、私達が過去に自由意志で行ったものが残酷であれば、それらの惑星は、残酷なカルマの波動を正確に返して来ます。

もしも、すばらしい考え方をもち人々を助けたならば、それらの惑星は同じような波動を返し、その人にすばらしい運命を与えます。もしも、誰かを残酷に傷つけたなら、惑星はその人に悲惨な運命を与えるのです。

惑星の影響が良ければ、その人の成功と幸せを作り出し、否定的な影響であれば、不成功や病気、不幸を作り出します。

土星を例にあげると、厳しい惑星だと考えられます。なぜなら、土星が人に返す人生は、過去に他の生き物に与えた痛みと同じ痛みを、その人に感じさせるように働くからです。しかし、人生に肯定的に返る場合、その人に何らかの分野で、有名にしたり、社会的力、スターや著名人になるように仕組みます。土星の意識を満足させるために、2万3千回のマントラが必要とされています。

太陽は、太陽系の父のような存在で寛大であるため、容易に刺激されます。水星の意識が少ない数で目覚めるのは、水星は太陽系で一番小さな惑星であり、一番太陽に近い惑星だからです。ジョーティッシュで、水星はYuvraj(若い王子)と呼ばれ、太陽や他の惑星を助ける機能があります。

宇宙にある7つの惑星すべては、人間の身体のチャクラエネルギーという形で存在します。同じように、すべての惑星のエネルギーは地層にも存在しています。それは、私達の肉体も、地球もこの太陽系の一部だからです。

この地球には異なる種類の石があります。石は、7つの惑星の色(虹の色に相当)から、何億年という歳月の間、地層で影響を受け、様々に変化した色を持っています。特定の惑星のエネルギーは、特定の地層の一部に一致して影響します。

ですから、この地球にある特定の石は、特定の惑星のエネルギーが凝縮した自然の宝庫なのです。それらの石は宝石と呼ばれています。

宝石と惑星が共鳴する宇宙のエネルギーの一致について、聖者達が伝えたものを下記に示しておきます。

ルビー ----太陽

2つの陰の補助惑星

真珠 -----月

ヘソナイト-----ラーフ

赤サンゴ---火星

キャッツアイ---ケートウ

エメラルド---水星

イエローサファイア---木星

ダイヤモンド----金星

ブルーサファイア----土星

ホロスコープから判断して、良い作用のある特定の惑星を持っているけれども、さらにその効果を強くして、他の弱さも補うくらいトータルな影響を向上するために、その惑星と一致するラッキーストーンとなる宝石を身に付けるべきであると、聖者達は助言しています。

太陽光は、虫眼鏡を通す時に、光を集め火を起こすこともできますが、普通の状態での太陽光は火を起こすことがないように、宝石が人の身体に付けられる時、宇宙の光線と特定の惑星の色が吸収され、特定のチャクラに送られ、チャクラの機能を向上させます。

宝石からもっと強い効果を望むならば、宝石を身に付ける前に、「マントラのエネルギー」を補充しておくべきであると、聖者達は勧めています。

そのために、「プラン パルティシユタ」(生命の確立)と呼ばれる精神性の高い儀式を発展させました。それは、水が波動を補充するように、宝石に特別な宇宙の保護の力を補充するためのものです。この儀式によると、それぞれの宝石は、特定の惑星とつながっている特定のマントラを、その惑星の満足に相当する数を唱えて、浄化されなければならないとされている。

たとえば、ブルーサファイアを身に付ける人は、土星からのエネルギーをもっと確立するために、宝石に意識を集中させ、「オーム シャニチャラーエ ナマ」というマントラを2万3千回唱えていきます。その儀式では、精神性の高い考え方をもち、よい発音で行える人がマントラを唱えるのが、もっと良いでしょう。マントラはひとり、又は精神性の高い聖者達で構成されたチームで唱えられます。この儀式によって、マントラの精神性の高い音のエネルギーは宝石に貯蔵されていきます。この音のエネルギーはチャクラにある音によって理解されます。壊されることのない精神性の高いエネルギーで惑星が波動し始める方法を用いて、どんな宝石も浄化することができます。

特定の宝石を触ったり、身に付けたりしたなら、特定の惑星の音と色に一致するチャクラの音と色の間には、微妙な伝達が起こります。その場所から思考がマインドの表面に浮かび上がります。

宝石が肌に触れるようにするか、皮膚と宝石の間に金属が無い方が良いのです。これらの知識は、普通の宝石が、運命を強力に保護する宝石に変化する古代からの秘訣なのです。

これが古代インドの宝石学の基礎でした。

今日、世界の多くの国々で、たくさんの人々がヨガをしています。ヨガの多くの精神性の高い概念はすべての人々に届きませんでした。そして、ヨガはただ肉体の活動だけに留まってしまいました。同じように、幸運をもたらす宝石の知識がインドのジョーティシュから他の国々に届いた時、多くの人々が幸運のために、ラッキーストーンだと思ふ石を身に付け始めました。しかし、ほとんどの人々は宝石がもたらす幸運を強力にする本当の秘密を知ることはありませんでした。

みなさんは自分のホロスコープから示される宝石を身に付けるべきなのです。

あなたが宝石を身体に身に付ける習慣がなかったとしても、あなたの幸運をもたらす宝石は、日常で多くの時間を過ごす場所に、自分の近くに置いておくこともできます。

世界的に有名なヨギーであるヨガナンダ・パルマハンサは、彼のベストセラーとなった「あるヨギーの自叙伝」の16章の中で、幸運のために宝石を身に付ける事を勧めています。その彼はこのように述べています。

「避雷針によって家が雷から守られるように、肉体の寺院は多様な防御手段に

よって守られる。」

小さな宝石も使えるものですが、大きい宝石ほど効果は大きくなります。そのため、より効果的にするために、2カラット以上の宝石を身に付けるべきであると、ヨガナンダ・パルマハンサは勧めています。他にもたくさんのグル達が同じように勧めています。9つの主な宝石で大きいものを身に付けるのが不可能であれば、浄化の儀式を受けている宝石を、2カラット以下の小さいものでも、手に入れられる範囲のできるだけ大きいものにとすると良いです。

多くのマハラジャ(王様)も、権力のために、古代インドのジョーティッシュによって勧められた幸運を運ぶ宝石を使っていました。今日でも、たくさんの著名人や映画スター、コンピューター技術者達も、幸運のために自分の持つべき宝石を身に付けています。

「宝石の使用者は、運の使用者である。」

528, Poorvarchik, Agneya 、サーマ ヴェーダ

人生の確信している側面に、さらに幸運を補充する必要があると気づいたなら、特定の惑星からの影響を強めるために、人生の側面に結びついた宝石を身に付けることです。たとえば、精神性を高く向上させるためには、ブルーサファイアを使い、社会での意志の伝達、やりとりの向上のためには、エメラルドを使います。しかし、宝石を使う前に、自分のホロスコープ上で土星や水星の配置がどのような影響を与えているのか、忘れずにチェックしておかなければなりません。

惑星は独自の好ましい波動を持つ金属があります。そのため、宝石がさらに効果をもたらすように、特定の金属と一緒に使われるべきだと言われていますが、それほど厳しい法則ではありません。

宝石はその一致する特定の惑星の敬意が示される曜日に付け始めてください。

浄化された宝石を手に入れたら、指輪かペンダントに加工し、始めて身に付ける時に、指定された曜日に、天然塩か牛乳に自分できれいになったと感じるまで、しばらく浸けておきます。そして、それを取り出して水で洗い、手に握って、宝石と惑星に一致する指定されているマントラを108回以上唱えてから、身に付けます。

寺院で浄化のヤツキャ儀式を受けた宝石であれば、これらの過程はそれほど重要視しなくても効果的に働きますが、他の人々の手に触れている場合があるの

で、付け始める時に、自分自身で軽く浄化して、惑星に敬意を示す方が良いでしょう。

108回マントラを唱える時にマラ(数珠)を使うと簡単に数えられます。1周で108

回ですが、それ以上続けて数える時には、マラの結び目を越えずに、折り返して行ったり来たりするように数珠を動かしていきます。時間を計って数えても良いでしょう。自分なりに工夫してみてください。

宝石は指輪でもペンダントヘッド、ブレスレットでも構いませんが、指輪であれば、指定されている指があります。

宝石(惑星)	曜日	指	金属	マントラ
ルビー(太陽)	日	薬指	金	オーム スーリャエ ナマ
真珠(月)	月	薬指	銀	オーム ソーマエ ナマ
赤珊瑚(火星)	火	薬指	金	オーム マンガラエ ナマ
エメラルド(水星)	水	小指	金	オーム ブッダーエ ナマ
イエロー サファイア(木星)	木	人さし 指	金	オーム グルヴェ ナマ
ダイヤモンド(金星)	金	中指	金	オーム シュックラーエ ナマ
ブルー サファイア(土星)	土	中指	銀	オーム シャニチャラーエ ナマ
ヘソナイト(ラーフ)	土	中指	銀	オーム ラーフヴェ ナマ
キャッツアイ(ケートウ)	木	中指	金	オーム ケートヴェ ナマ

***** ダイヤモンドは愛のため? *****

なぜ、女性がダイヤモンドは永遠の愛の象徴であり、婚約の時には身に付けるものだと思っているか、あなたは考えた事がありますか？

もし、ダイヤモンドセールスの裏側にあるお話を知りたいなら、有名な著者、ジャーニー・ロバートによるダイヤモンド企業連合の秘密の世界を暴く‘Glitter &

Greed’ を読んでみて下さい。女性にダイヤモンドを贈るのは昔からの伝統であり

女性は皆、婚約時には男性からダイヤモンドを贈られるものだ、という広告を造り、

どのように企業が計画的にうわさを広めようとしたかについて、秘密を公開しています。

さらに著者は本の中で、最も伝統のあるインドでは、実際には異なっていた、と説明しています。なぜなら、インドでは、ダイヤモンドは男性よって愛を貫く強さ、戦いに強くあるために身に付けられるものあり、女性に贈る文化はありませんでした。

彼女の本によって、多くの女性がこうした話を知ることになりましたが、この真実を明るみにしたことで、彼女の人生もまた危険にさらされました。

ここで説明すべき重要なことは、何千年も前の古代インドに遡れば、宝石は(ダイヤモンドでも、他の宝石でも)ジョーティッシュの知識を通してのみ身につけられた事が分かります。現代でさえ、インドでは、ジョーティッシュの助言なくして宝石を身につけている人を見つけるのは難しいでしょう。

ダイヤモンドは金星(この惑星の意識は、美・愛・芸術などと結びついています。)が作用する宝石ですが、すべての人にとって幸運をもたらす適切な宝石であるというわけではありません。

ジョーティッシュによれば、適切な石でないのにダイヤモンドを身につけても、決して幸運には恵まれません。それは、結婚運にもまた影響を及ぼします。

多分、これが、現代における多くの結婚が、永遠の愛(?)の象徴であるダイヤモンドを身につけた後でさえも、すぐに離婚に至る理由でしょう。

結婚が離婚に至る多くの話題の中で、1週間で離婚してしまうケースもあります。驚くのは、何年もの間交際し、彼ら自身で決めた結婚にも起こっていることです。さらに、婚約が結婚に至る前に破局が訪れるカップルもいます。インドの人たちの結婚はどうかというと、彼らは、マスター達の助言を信頼しているのでもうまくいっています。

宝石はただのアクセサリではありません。私たちの幸運に影響を及ぼすのです。

ですから、たとえ、結婚の際にダイヤモンドを使いたいのであっても、あるいは、ただおしゃれの為の宝石として使いたいのであっても、自分にとって適切な宝石でなければならぬのです。

古代のマスターたちは、人類に貢献するためにヨガやアーユルベーダやジョーティッシュの偉大な知恵を探求してきましたが、悲しいことに、その知識はまだ全人類に届くには至っていません。今、再び時は、人類社会の幸福の為に古代マスターたちの知識を再考せよと告げています。

第3章 チャクラを癒す音

聖者のように精神性の高いマスター達は、特定のチャクラを改善するのは宝石だけではなく、私たちの体の特定のチャクラと結びついている特別な音を声にだして唱えたり、心の中で唱えたり、外から聴くこともまたチャクラを高めるのに役立つと教えています。例えば、あなたの最初のチャクラ(ムーラダーラ)がホロスコープにより、もう少し波動を与えたいと分かれば、ルビーを身につけるのに加えて、Lamの音を声に出すと良いでしょう。なぜなら、最初のチャクラはこの音に対応しているからです。

全てのチャクラには基本的な音があります。これら全てのチャクラの機能は、それぞれ対応する特定のチャクラの音を声に出すことによって高められます。しかし、マスターたちは、口を揃えて、これらの異なるチャクラの音はすべて宇宙の基本的な音、Ooo. . mmmm に起源があると言いました。頭上の王冠と呼ばれる、最後のチャクラ(サハスラー)は基本的な宇宙の音と結びついています。これが、Omが最高のマントラとされる所以です。古代のほとんど全てのマントラは、このマントラから作られています。この基本的なマントラの音を唱えれば、全てのチャクラのバランスを取る事が出来ます。

古代では、(現在でさえも)全ての寺院の正門にベルがあり、そのベルから鳴る音がOmでした。サハスラー チャクラは、神の家への正門でもあり、そこでもOmの音が振動しています。

仏教僧達は、Ooo. . mmmmの音を作る為に、チベットンボールなどの鐘(除夜の鐘の音も同じです。)を使う事があります。

Omを唱えるもう一つの理由は、自然の法則において、この宇宙の全ては不滅とされています。

ただ形を変えるだけで、何物も永遠に破壊されるものはありません。同じ法則に従って、音もまた不滅のものです。この地球上で人間が話すいかなる音も言葉も、宇宙に保存されます。それらは聴かれない状態のままで、宇宙に存在されており、音楽が入ったCDを耳に近づけても外からは何も聞こえないのと同じ事です。しかし、確かに音楽がCDの中には存在しています。同様に、この宇宙もまた、私たちが聞くことのできない音で満たされているのです。

Omは異なる歴史の時期に生まれた非常に多くのヨガ行者たちによって、神に捧

げる為に、何百兆という数えきれないほど繰り返し唱えられてきた音です。そのヨ
ガ行者たちは、悟りを開いた後でさえ、生涯Omを唱えつづけました。基本的な宇宙
のOmと悟りに向かった実践者たちのOmが宇宙の中で調和しました。マントラに多く
の時間をかけたことによって、彼らの細胞の音が目覚め、宇宙の音とより調和して
振動し始めたのです。マントラはチャクラとこの基本的な宇宙の音Ooo. . mmmm
が調和するのに役立つのです。

Ooo. . mmmmは、宇宙の基本的な音ではありますが、あなたが心の中で愛を
こめて神に想いををせながら発する音や言葉は何であっても、マントラと同
じパワーを持つこととなります。

マントラはチャクラを癒す為だけに唱えられるものではなく、魂をカルマと運命か
ら自由にし、悟りに到達させてくれます。
これが、サンスクリット語で「マントラ」が

Man = 意識あるいは魂 tra = 自由、広がり

を意味する理由です。

マントラは、異なる時代にさまざまな人たちによって使われてきました。ジョージ・
ハリソンやジョン・レノン(ビートルズ)もまた、マントラのパワーを信じ、マントラを唱
えてインドで長い時を過ごしました。

「マントラの音の構造には、不思議なエネルギーがこめられており、それ
ぞれのマントラには、その振動の中にある確かなパワーがこめられている。
しかし、全てのマントラの中で、Maha-mantra(the Hare Krishna
mantra) が、この現在において、神の存在を実現する一番容易で確かな方法
だ。」

ジョージ・ハリソン

ジョージ・ハリソン自伝「I・ME・MINE」より

ガンジーもまた、彼の人生における数々の逆境に立ち向かう為に、生涯を
通じてラーマ神のマントラ (Ram-Ram) を実践したと言われてしています。

もし、あなたが自分の運命を望むように変えたいのなら、過去何千年にも
わたって古代のマスターたちが使ってきた次のマントラをどれでも選んで唱え
てみることです。

1. Om オーム

ヨーガのクラスなどでもよく使われる基本的なもの。Omはブラフマ（宇宙意識）の象徴であり、インド古代のほとんどのマントラはこのOmで始まります。

2. Om Namo Shivaya オーム ナモ シヴァーヤ

シヴァ神（宇宙エネルギー）への礼拝

3. Om Bhur Bhuva Sva Tat Savitur Varenyam Bhargo Devasya Dhimahi
Dhiyo Yo Na Prachodayat (Gaytri Mantra)

オーム ブル ブヴァ スヴァ タット サヴィトウル ヴァレーニヤム
バルゴ デヴァッシャ ディマヒ ディヨー ヨー ナ プラチョダヤッ
ト

インド最古のマントラであり、太陽から働きかける光（知識）である宇宙エネルギーに捧げる

4. Hare Krishna Hare Krishna Krishna Krishna Hare Hare

Hare Rama Hare Rama Rama Rama Hare Hare

ハレー クリシュナ ハレー クリシュナ

クリシュナ クリシュナ ハレーハレー

ハレー ラーマ ハレー ラーマ ラーマ ラーマ ハレーハレー

インドで人気のあるマントラ、主クリシュナと主ラーマは

同じ神の生まれ変わりであり、両神に礼拝する。

第4章 運命とソウルメイト

運命は、私たちの愛に関する決定事項をも支配しています。

多くの人々は、常に完璧な人生のパートナーを捜し求めており、どんな理想をもっているかはその本人にしか分かりません。しかし、世界中の多くの人々が捜し求めている資質は、次の4つに共通しています。

美しさ
忠誠
富
知性

一流の有名人や世界で最も成功している人々でさえ、運命が見方してくれなければ理想のパートナーを得ることは出来ません。しかし、運命が見方してくれるなら、普通の人々でも理想のパートナーを得る多くの例があります。

現代において、愛は重要な問題となっています。なぜなら完璧な結婚におけるソウルメイトを見つけることは、神を探すことよりも難しくなっているからです。ブツダは修行を始めて6年以内に真理を発見しましたが、多くの人は20、30年たっても人生のパートナーを見つけることが出来ずにいます。

愛において、特別な運命をもった人たちもいます。彼らは若い頃、18～30歳には、パーティーに行くのが大好きで、多くの異性に会う機会があり、その頃、彼らにとって人生は楽しくすばらしいものに思え、全てがおもしろく、何でもできるような気にさえなりました。交際や結婚の申し込みも多くありましたが、将来に対する理想の高さから、多くの申し込みが拒絶されていきます。その頃の彼らにとっては、長続き関係はあまり魅力的なものではないので、結婚の話題になるとこんな事を言い出します。

「人生を楽しまなきゃ。結婚のことなんて心配することないよ。」

「彼女はいい人だけど、でもね・・・」

「彼は私を好きみたいだけど、私はそんな風に思ってなくて、いい友達っていう存在なのよね。」

「結婚なんて理解出来ないな、今は自由でいたいから。」

そんな彼らが、お見合い結婚を信じる素朴な文化に属する人々の話を聞く時の反応はこうです。

「お見合いなんて、おかしいんじゃない!!! どうやったら、よく知りもしないデートした事もない人と結婚出来るんだろう。」

何年か経ち、その当時20、30代だった人たちが35歳から40歳に近づきます。状況は一変します。彼らは理想の人の気を引こうとしますが、うまくいきません。だんだんと社会から阻害されているように感じ始め、言うことも変わり始めます。

「最近、自分にぴったり合う人を見つけるのは、とても難しいね。」

「なんで、みんな、私を理解してくれないんだろう。」

「美人じゃないのかしら。」

「なんでこんなにストレスを感じるんだろう。」

「わたし太っちゃったかなあ。どこかいいヨガスタジオかスポーツジム知ってる？」

時に、そのような人たちは、最後には生涯を一人で過ごすことになってしまいます。他の人よりも魅力的な人々は、愛に対する期待も高いものです。それゆえ、失望もまた大きいと言えます。

そして、人間には知性があり、運命をものともせず理想の愛を手に入れる事が出来ると思っている人々もいます。彼らは、人間は理想の人に出会う事ができ、その人が自分にとってふさわしい人だと分かると信じています。彼らもまた、お見合い制度を良しとしない人たちです。時間をかければ、簡単に相手を理解でき、長所や短所も分かるとさえ思っています。

結婚後、彼らの大部分に何が起こるのでしょうか？ 数多くの失恋や別離なのです。

***** 運命は人間の知性よりも強力？ *****

運命の支配下のもとに起こっているのは、愛に関することだけではなく、多くの重要な事柄においても生じている例がたくさんあります。単に私たちの選択によって

起こっているわけではありません。

ですから、自分にふさわしい人を見つける事は、ただ出会いの回数を重ねる事や高い知性を必要とするものではなく、運命に左右されているものだと言えるのです。もし、運命が良くないなら、結婚する前に何度も相手に会う機会があったとしても、最後には悲しい結末を迎える事になります。

しかし、もし運命が良いなら、たった一度の出会いでさえ、あなたは理想の相手を見つける事が出来るでしょう。

なぜなら、現世では特別な理由から魂は、結婚、仕事上のパートナー、友情、その他の結びつきであれ、お互いに出会うように仕組まれているからです。

私は、ある聖人から愛における人間関係の中でいかに運命が神秘的な役割を果たしているかという話を聞きました。

ある弁護士が書類を偽造して、一人の女性から財産を根こそぎ奪い去りました。その男は死んで、来世では貧しい家に生まれ変わりました。しかし、昼夜をいとわぬ勤労の果てに百万長者となり、街でも有名な男になりました。

ある日、彼はクラブでとても魅力的な女性に出会い、その美しさの虜になりました。なんとか、彼女との交際をものにし、友達には彼女はソウルメイトである気がすると行ってまわりました。一年の交際の末、めでたく二人は結婚して、半年が過ぎました。

すると、問題が起こり始め、家庭内暴力で、彼が妻を殴ろうとした時、誤ってマンションの高い所から転落し死んでしまいました。

そして、裁判が行われ、法廷でその判定結果が出されました。これは事故であり彼の財産はすべて法律上その妻が所有者である、と言い渡しました。

この妻こそが、前世でその男が騙した女性だったのです。

その数ヶ月後、その女性は別の男性を見つけるのです。

この種のお話は個人の運命に基づいて、世界中で起こっています。

夫や妻だけでなく、息子や娘、母親、父親、友達、上司、ペットや近親者でさえ過去世のカルマに基づいて私たちと結びついているのです。幸福を与えてくれるものもあれば、不幸を運んでくるものもあります。

人間は、他人を助ける為に、または害を及ぼす為に、巧みな方法で脳を使いますが、運命もまた、私たちに見合うものを返す為に、より神秘的で精巧な役割を果たしています。

この全宇宙がカルマと運命のステージであり、それは、カルマと運命の運行という目的を果たすために、太古から流れている規則的な法則があるのです。神は、そのコンピュータ化された精巧なシステムの中で、ほんのわずかな誤りもそのままにしておくことはありません。

相手との関係がどのくらい続くのか、その関係は良くなるのか悪くなるかにかは、運命次第なのです。

では、良いカルマで結びついている人々を認識する何らかの方法はないのでしょうか。どのカルマで人々と結びついているかを判断するのは非常に難しく、将来、誰が助けとなってくれるのか、または誰に傷つけられるかは、私たちには計り知れません。

古代インドでも、弟子達もまたジョーティッシュのマスター達からこれらの答えを知りたいと思っていました。マスターたちの中には、運命は非常に神秘的に作用しているので、その方法を見つけることは簡単ではない、という人達もいました。しかし、彼らは、私たち一人一人は、この地上の適切な場所に、歴史上のある特定の時期に、この宇宙の中の特定の惑星の位置と星座の位置に生まれるように運命づけられていると言います。そしてその時、私たちと過去世でつながりをもつ他の魂もまた生まれるのだ、という小さな手がかりを与えてくれました。私たちが地球上に生まれるやいなや、運命の種がチャクラに芽生え始め、過去世での結びつきのある人々に出会うドラマが始まるのです。

マスターたちは、もし生まれた時の天体の位置が似ている、もしくは同じ天体に位置する人と結婚すれば、良いカルマの結びつきをもつ人々と出会え、二人の関係はすばらしい調和を生み出す可能性ある、と言っています。

それは、宇宙のどの状態の時に生まれた人が、あなたにとって良い相手なのかを確かめる為に、特別な技術である「クンドウリ ミランKundli Milan」(異なるホロスコープを見比べる事)を薦める理由なのです。ある生来の性格をもつ特定の種類の人々は、宇宙で特定の天体の配置の下に生まれるようになっています。

相性に関しては、いくつか考慮されるべき点があり、「クンドウリ ミラン」の8つの要素は、二人の潜在的な相性のレベルを見つけるのに相応し、それぞれの要素は独自の重要性に基づく特徴があります。

相性	合計	36ポイント
Nadi	8	神経エネルギーの相性
Rashi	7	星座の相性
Gan	6	カップルの繁栄
Grah	5	惑星の相性
Yoni	4	セックスの相性
Din	3	健康と関係の長寿
Vasya	2	精神的な魅力
Varna	1	人種の相性

もし、あなたと恋人との間に相性のポイントが18以下となるなら、この関係には注意が必要です。なぜなら、ジョーティッシュの法則ではこの結婚をすすめてはいないからです。

しかし、それでも尚、この人と結婚したいというなら、マスター達は結婚の前に、魂のための救済儀式を受ける事をすすめています。

もし「クンドゥリ ミラン」の結果が21以上なら、幸せな結婚になるでしょう。お互いに良いカルマの結びつきをもっていると言えます。

インドの歴史上、今まで非常に多くのカップルが過去何千年にもわたって「クンドゥリ ミラン」の方法に基づいて幸福な結婚をし、離婚率は5%にもなっていません。

現在でさえも、億万長者や有名な映画スターが結婚する時には、ジョーティッシュからの助言を受けています。そして、インドの大都市の若者の中には、この助言を無視したが為に、悲しい結婚生活の結末をむかえることになったものも少なくありません。西洋でも同じ事が起こっています。

この計算によると、人生の最も重要な決断時において間違いを避ける為には、個人の判断に加えて、「クンドゥリ ミラン」の判断を試す事が賢明だと言えるでしょう。

第5章 ジョーティッシュと西洋占星術の違い

最近、広告などの宣伝効果によって、多くの人々が西洋占星術を知っています。歴史をよく調べてみると、基本的にはジョーティッシュと西洋占星術は起源を異にしていることが分かります。西洋占星術が何千年も前に、ジョーティッシュからその起源を得た後、異なる存在になっていったのです。

古代の歴史には、多くの外国人が精神世界を学ぶため、あるいは、アレキサンドラのように奪い取るために、インドに旅してきたという文献がたくさん残っています。多くの事柄が、東から西に伝授されました。

中国の有名な学者、玄奘は、7世紀インドへの17年にもわたる研究の旅について、大唐西域記に詳細な情報を記しました。彼はこの長い旅の中で、2500年前にインドに存在した世界でもっとも古い大学の一つであったナランダ大学で2年以上の歳月を過ごしました。

当時、この大学は16kmにもおよび60以上もの科目が教えられていたと記されています。また、この大学には約1万人の生徒と2千人の教師がおり、教室ばかりでなく多くの瞑想用のホールまで存在したと言われていています。瞑想は生徒の知能を高めるのに役立つものだからです。

玄奘は、また、その著書の中で、学生の中には、韓国や日本、中国、チベット、インドネシア、ペルシャ、トルコなどから来た者もいたと記しています。

ジョーティッシュと数学は、当時、非常に発達した学問でした。

また、インドの歴史にも、この大学に関する資料がありますが、この大学は後に、外国から来た侵入者によって滅ぼされてしまいました。この大学の図書館は非常に大きく、全ての本を燃やし尽くして灰にするまで半年かかったと言われていています。

コロンブスでさえも、インドについて多くのことを聞くうちに、地球は丸いことから、すぐにインドにつけるだろうと思い、地球の反対側から船でインドへたどり着く計画を立てたのですが、誤って、アメリカのある土地に上陸してしまいました。そこがインドだと思ったコロンブスは、原住民をインディアンと呼びました。それが今日でさえ、アメリカ原住民がインディアンと呼ばれるゆえんとなったのです。

ここで、もう一つ、イエスの人生について例をあげてみましょう。世界中の多くの人々が知っているように、通常、西洋の歴史では、イエスの知られざる生涯(13~30歳まで)についてあまり多くの事が語られておらず、未知のままにされています。しかし、この謎を解くために、歴史の足跡を追い始めた学者たちがいました。そして、彼らが発見したものは、すべて驚きに満ちていました。

ニコラス・トビッチやホルガー・カーストンのような多くの学者が長い調査を重ね、この知られざる生涯の間にイエスは世界を旅し、仏教やヨガのような精神性について研究するために、インドを訪れていたことを各々の著書、「The Unknown Life of Jesus」と「Jesus Lived in India」の中で、詳細に述べています。

この二人の外国人著者ばかりではなく、多くの他の作家も同じ結論に達しています。これらの本の中で、彼らはいかにして知識が東から西に伝えられたかを物語る多くの文献と証拠をあげています。東洋と西洋の精神世界の思想には多くの類似点があるのです。

もし、ヨガの現在に占める位置に目をむけるなら、2千年以降にこの地上に生まれた世代にとって、西洋の健康重視のヨガと、古代インドの悟りを重視したヨガとの関連性を見つける事は非常に難しいものでしょう。

ジョーティッシュにもまた、西洋に伝わった後、その文化と環境に応じて異なる発達をとげていったという同じような流れがあります。ジョーティッシュと西洋占星術の多くの類似点があり、二つが異なるものでないことを証明しています。

ジョーティッシュと西洋占星術では、全ての惑星が全く同じ星座を支配しています。両方とも太陽のサイン(ジョーティッシュでは月のサインも重視しています)を重視しています。しかし、西洋占星術が「太陽のマントラ」あるいは「太陽の礼拝」の重要性を忘れているのに対して、ジョーティッシュとヨガはそうではありません。西洋占星術では、宝石が幸運をもたらすことは認めましたが、宝石の浄化のための「Pran-Partishtha (プラン-プラティスタ)」というマントラの儀式については認めませんでした。

西洋占星術は、惑星は人間の生活に影響を及ぼしていると信じていましたが、カルマと運命の法則は受け入れませんでした。しかし、もしこの宇宙の全てがうまく組織されているなら、なぜ惑星が理由もなく人間の運命に干渉するのでしょうか？

ジョーティッシュでは、惑星が干渉しているのではなく、ただ、この宇宙での私たちの行動の波動に反応しているだけであり、その波動は私たちの心と体から生じたものだと教えています。

それゆえ、カルマと運命が、ジョーティッシュにとっては不可欠なのです。

では、なぜ西洋では、「太陽のマントラ」あるいは、「太陽の礼拝」と「プランプラティスタ」と、「カルマと運命」は受け入れられなかったのでしょうか。おそらく、当時の文化では、これらは「異教崇拜」や「神への冒瀆」とみなされたのでしょう。

太陽のサインは、個人の性格と性質を知る上で、非常に重要であると考えられています。しかし、もし、10年もしくは20年間、毎日、新聞や雑誌で読んできた西洋占星術に基づく太陽のサインが、自分の本当の太陽サインでなかったとしたら、どうでしょうか？

例をあげてみましょう。1973年10月25日生まれの人の太陽サインは何でしょうか？ 新聞を取って10月23日から11月21日の間に生まれた人は蠍座だと確認します。そして、その後の人生ずっと、蠍座の部分を読みつづけます。実際には天秤座だという事実を知らないままに。

一体なぜ、こうした事が起こるのでしょうか？

宇宙の360度のサークルは12の想像上の星座（お羊座、牡牛座など）に分けられます。そのサークルを12の星座で割ると、一星座は30度になります。これは、各星座は宇宙において30度の位置を占めていることを意味しています。

地球は太陽の周りを回転しており、地球から太陽を見上げる時はいつでも、12の星座のうちある特定の星座の中に位置していることになります。太陽は毎月星座を変え、一年で12の星座を完成します。

地球上に生まれた時、太陽のサインがどの星座にあったか数学的にその位置を計算します。誕生の際に、太陽がどの星座にあるのかが、あなたの太陽サインになります。

ホロスコープを作ることによって決められるのは、太陽のサインだけではなく、どの角度に太陽があったかも計算されています。

これが星座を知る基本的な考え方になります。

科学者は、地球が太陽の周りを周っているだけではなく、地球自体の軸が常に傾いているという事実も計算にいれました。その現象のため、占星術と天文学の研究において変化がありました。そして、約2千年前、1年間のうちで10月に太陽は蠍座にあったのですが、現在は10月に太陽は天秤座にいます。

地球の軸は傾いてきているので、2千年前と現在では、その違いは24度になっています。一つの星座の範囲は30度を占めているので、多くの範囲にズレが生じているのです。

一連のジョーティッシュの知識をもつ人たちはこれを理解し、これに応じて占星術の計算を続けました。古代インドでは、ジョーティッシュの研究におけるいかなる誤りをも避けるため、数学は大変重要視されていました。これが、インドで、0、数値

システム、代数学、幾何学などが誕生した理由です。

「私たちはインド人に負うところが多い。インド人は数え方を教えてくれましたが、それなしでは有益な科学的発見はどれ一つとして成されなかったでしょう。」

アルバート・アインシュタイン

しかし、西洋占星術においては、この点は重要視されず、同じタイプの計算法が今なお続けられています。そして、世界中の何百万もの人々が自らの太陽サインを間違えているのです。

ですから、もし、あなたが太陽サインにもとづいて自分の性格を知りたいなら、この事実を慎重に受け止めなければなりません。そうでなければ、占いの予想は誤っていることになってしまいます。

ジョーティッシュでは、太陽サインだけで性格を知るには十分ではなく、月のサインも考慮されるべきだと教えています。いかなる惑星の放射線も月の放射線を交差せずには、地球の領域に入ることは出来ないからです。月は、地球に対して距離が近い為に、より強く私たちの意識と結びついていると言えます。

しかし、すぐれた数学の計算や多くの他の要素が存在したにもかかわらず、ジョーティッシュは、ヨガやアーユルヴェーダのように世界中の人々に知られるには至りませんでした。なぜなら、それが物質的であろうと精神的なものでであろうと、広がるには何らかの宣伝が必要だからです。

インドのマスターたちは人生と宇宙の要素を深く探求はしましたが、西洋のように全世界にそれを広める感覚は持ち得なかったことを、私は、他の国を訪れる機会がある度に残念に思います。こうしたことから、インドからの多くの精神世界の要素の深い部分が、世界の人々に、特に日本のような言語の壁がある国には、何世紀にも渡って知られざるままになっている理由なのでしょう。

今、歴史はグローバリズムのおかげで再び繰り返そうとしています。私は、ジョーティッシュの古代の知識が、現在においてもその効果を発揮することを願ってやみません。

宇宙の法則と運命の仕組みに関する詳しい内容と否定的な運命の改善法などは、著書「運命好転の法則」主婦の友社出版をお読みください。
個人鑑定を希望される方は、鑑定前にぜひご購入ください。

ホームページアドレス www.yogajyoti.com

***** 個人鑑定のお案内 ***** 占星術師 アチャーリヤ・アマン

★重要ポイントリーディング鑑定★

ホロスコープから人生にある重要ポイントをお話します。

鑑定時間 約60分、手相鑑定、宝石鑑定を含みます。

★フルリーディング鑑定★

ホロスコープから今生で与えられている全てのカルマの結果をお伝えします。面会時にすべての人生面での事柄について、何でも御相談ください。鑑定時間90分、手相鑑定、宝石鑑定を含みます。

.....* 直接面会、電話、ネットカウンセリング、またはEメール、郵便で結果報告。

★ラッキーストーン鑑定★

御自身のホロスコープから一番必要な波動を持つ宝石の種類を鑑定。身に付け方、宝石の情報もお知らせいたします。

★ビジネス、結婚、相性鑑定★

成功する可能性が解ります。

★マフルタ(開始幸運日)、ナムカラン(名前)鑑定★

ビジネスや引越しの開運日、会社やショップ名、芸名、スピリチュアル名など

.....* 鑑定結果は、Eメール、または郵送でお送り致します。

すべての鑑定では、鑑定される方の誕生情報が必要です。

誕生日(西暦) 2. 誕生時間 3. 誕生場所(都道府県、区市郡)

料金についてはお問い合わせください。

お申し込み先: enquiry@yogajyoti.com

TEL 03-6763-8515